

通し番号	3907
------	------

分類番号	14-7B-22-06
------	-------------

(成果情報名) 平成13年度採卵鶏の経済検定試験	
<p>[要約] 本県の採卵鶏種選定の一助とするため6銘柄の検定を実施した。育成率はボリスが100%と良好であった。20～80週齢の成鶏期の成績では、産卵率はエルベ、ボリスが高かった。平均卵重はソニアが軽く、銘柄間差は約3.5gであった。日産卵量はエルベ、ボリスが良好であった。飼料摂取量の銘柄間の差は1.0gと小さかった。飼料要求率はエルベが2.04と良好であった。</p>	
(実施機関・部名) 神奈川県畜産研究所 畜産工学部 連絡先 046-238-4056	

[背景・ねらい]

本県の採卵養鶏にふさわしいと考えられる鶏種について、それらの特質と能力を検定し養鶏農家における鶏種選定の指針を示すため実施した。

[成果の内容・特徴]

- 1 育成率はボリスが100%と良好で、他の銘柄も98%以上の高い育成率を示した。
- 2 産卵率はエルベ、ボリスが高かった(P<0.05)。平均卵重はソニアが有意に(P<0.05)軽く、銘柄間差は約3.5gであった。日産卵量はエルベ、ボリスが良好であった(P<0.05)。飼料摂取量の銘柄間の差は1.0gと小さかった。飼料要求率はエルベが2.04と良好であった(P<0.05)。
- 3 卵質のハウユニットはE X、ソニアが有意に(P<0.05)高く、ローラが80を切り、有意に(P<0.05)低い値となった。卵殻強度はジュリア、エルベがやゝ高い値となったが、有意な差ではなかった。
- 4 収益性は非規格卵価、規格卵価ともエルベが有意に(P<0.05)高い成績を示し、次いで、ボリス、ジュリアとなった。

[成果の活用面・留意点]

- 1 銘柄の特徴(産卵性、卵質、粒先等)を熟考して、それぞれの販売方式に適合した銘柄を選定することにより経営向上が期待できる。

[具体的データ]

表 1 平成13年度採卵鶏の経済検定試験育成期・成鶏期・卵質の成績 (0~80週齢)

鶏 種		シエラ - H & N ホリス					
		ローラ	ジュリア	E X (E X)	エルベ (エルベ)	ソニア	ブラウン (ホリス)
育成期	育成率 %	98.1	99.0	98.1	98.0	98.1	100.0
	20週齢体重 g	1467 ^{a b}	1450 ^a	1462 ^{a b}	1475 ^{a b}	1553 ^b	1676 ^c
	飼料摂取量 g	7656 ^b	7270 ^a	7574 ^b	7585 ^b	7554 ^b	8106 ^c
50%産卵到達日齢 日		140.0 ^a	143.5 ^c	142.3 ^{b c}	141.8 ^{a b c}	143.0 ^c	141.0 ^{a b}
成鶏期	産卵率 %	80.7 ^a	83.5 ^{a b c}	82.2 ^{a b}	86.1 ^c	82.2 ^{a b}	85.1 ^{b c}
	平均卵重 g	61.8 ^{b c}	61.7 ^{b c}	61.1 ^b	62.9 ^c	59.4 ^a	61.7 ^{b c}
	日産卵量 g	49.6 ^{a b}	51.4 ^{b c}	50.3 ^{a b c}	54.1 ^d	48.6 ^a	52.4 ^{c d}
	飼料摂取量 g/日	109.7	110.4	109.8	110.5	109.4	110.3
	飼料要求率	2.21 ^{b c}	2.15 ^{a b c}	2.18 ^{b c}	2.04 ^a	2.25 ^c	2.10 ^{a b}
	生存率 %	91.7	81.3	86.5	82.3	87.5	93.8
43週齢体重 g		1706 ^{a b}	1646 ^{a b}	1582 ^a	1617 ^{a b}	1747 ^{b c}	1850 ^c
卵質	ハウユニット	79.29 ^a	82.93 ^b	86.15 ^c	83.21 ^{b c}	84.65 ^{b c}	82.19 ^b
	卵殻強度 kg	3.74	3.79	3.54	3.78	3.54	3.67
	卵殻厚 mm	0.354 ^a	0.350 ^a	0.355 ^a	0.349 ^a	0.336 ^b	0.348 ^a
	比重	1.0830	1.0808	1.0833	1.0805	1.0814	1.0816
	卵殻重 g	5.98 ^a	5.91 ^a	5.99 ^a	5.99 ^a	5.56 ^b	5.90 ^a
	卵殻比率 %	9.36	9.19	9.39	9.13	9.05	9.13
	血斑 %	2.50	1.25	0.00	1.25	1.25	0.00
肉斑 %		1.25 ^a	0.63 ^a	0.00 ^a	2.50 ^a	17.50 ^b	27.50 ^c
規格卵比率	3 L	1.3	1.4	1.1	2.3	0.2	2.0
	L L	10.0 ^{b c}	7.8 ^{a b}	9.1 ^{b c}	12.8 ^c	3.5 ^a	10.8 ^{b c}
	L	29.5 ^{b c}	30.2 ^{b c}	27.8 ^b	32.8 ^c	19.9 ^a	26.1 ^b
	M	34.1 ^a	36.9 ^a	34.8 ^a	32.9 ^a	42.5 ^b	34.1 ^a
	M S	17.3 ^{a b}	17.8 ^{a b}	19.5 ^b	14.4 ^a	24.6 ^c	20.8 ^{b c}
	S	6.0 ^{b c d}	4.4 ^{a b}	6.2 ^{c d}	3.6 ^a	7.6 ^d	4.9 ^{a b c}
	S S	2.0	1.4	1.4	1.2	1.6	1.4
	ハック卵(L~MS)	80.8 ^a	85.0 ^{a b}	82.1 ^{a b}	80.1 ^a	87.1 ^b	81.0 ^a
収益	非規格卵価(円)	795 ^{a b}	898 ^{a b c}	829 ^{a b}	1038 ^c	748 ^a	922 ^{b c}
	規格卵価(円)	953 ^a	1092 ^{a b c}	1009 ^{a b}	1204 ^c	958 ^a	1101 ^{b c}

育成期は0~20週齢、成鶏期は20~80週齢、卵質・卵殻色は32週齢以降8回の成績の平均異符号間には有意差あり(P<0.05)

- [資料名] 平成14年度試験研究成績書(繁殖工学・養鶏)
- [研究課題名] 採卵鶏の経済検定に関する研究
- [研究期間] 平成13~14年度
- [研究者担当名] 岸井誠男・引地宏二